

第2期 決算公告

東京都港区赤坂二丁目9番11号  
ソニーライフ・エイゴン・プランニング株式会社  
代表取締役社長 荒川 繁

平成20年度 貸借対照表  
(平成21年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
流動資産	1,007,904	流動負債	185,006
預金	913,776	未払金	169,926
貯蔵品	16	預り金	15,080
前払費用	81,532		
未収入金	12,579		
固定資産	1,612,707		
有形固定資産	141,432		
建物	24,605		
工具器具備品	116,826	負債合計	185,006
無形固定資産	1,223,141	<b>【純資産の部】</b>	
ソフトウェア	1,148,122	株主資本	
ソフトウェア仮勘定	75,018	資本金	3,000,000
投資その他の資産	248,133	資本剰余金	3,000,000
長期前払費用	23,346	資本準備金	3,000,000
預託金	224,787	利益剰余金	(408,291)
繰延資産	3,156,102	その他利益剰余金	(408,291)
創立費	7,458	繰越利益剰余金	(408,291)
開業費	3,148,644		
		純資産合計	5,591,708
資産合計	5,776,714	負債・純資産合計	5,776,714

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

平成20年度 損益計算書

〔平成20年 4月 1日 から  
平成21年 3月 31日 まで〕

(単位:千円)

科目	金額	
売上	-	
売上原価	-	
売上総利益	-	
販売費及び一般管理費	251,343	
営業損失	251,343	
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,772	
雑収入	978	4,751
営業外費用		
創立費償却額	2,237	2,237
経常損失		248,829
特別利益		-
特別損失		
ソフトウェア除却損		93,587
税引前当期純損失		342,417
法人税、住民税及び事業税		3,800
当期純損失		346,217

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

平成20年度 株主資本等変動計算書

〔平成20年 4月 1日 から  
平成21年 3月 31日 まで〕

(単位:千円)

	株 主 資 本					株主資本合計 (純資産合計)
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
平成20年3月31日残高	1,000,000	1,000,000	1,000,000	(62,074)	(62,074)	1,937,925
事業年度中の変動額						
新株の発行	2,000,000	2,000,000	2,000,000	-	-	4,000,000
当期純損失	-	-	-	(346,217)	(346,217)	(346,217)
株主資本以外の項目の 当事業年度変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計	2,000,000	2,000,000	2,000,000	(346,217)	(346,217)	3,653,782
平成21年3月31日残高	3,000,000	3,000,000	3,000,000	(408,291)	(408,291)	5,591,708

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準および評価方法

- ・有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券（市場価格のないもの）

取得差額が金利調整差額と認められる公社債（外国債券を含む）については移動平均法による償却原価法（定額法）、それ以外の有価証券については移動平均法による原価法によっております。なお、当期末において有価証券の残高はありません。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ①有形固定資産

定率法を採用しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

- ・建物附属設備 8年～15年
- ・工具器具備品 2年～15年

#### ②無形固定資産

定額法を採用しております。無形固定資産のうち自社利用のソフトウェアの減価償却方法は利用可能期間に基づく定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当期末において貸倒引当金の計上はありません。

### (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### ①繰延資産の処理方法

- ・創立費

会社設立までの諸費用を繰延資産計上し、会社設立日より5年で均等償却しております。

- ・開業費

会社設立後の諸費用を繰延資産計上し、会社開業後より償却を開始する予定です。

#### ②消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上し、5年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、発生年度に費用処理しております。

### (5) 重要な会計方針の変更

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月30日企業会計基準第13号）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以後開始する事業年度から適用となったことに伴い、当事業年度より同会計基準並びに同適用指針を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

## 2. 貸借対照表に関する注記

- 有形固定資産の減価償却累計額 60,429千円
- 関係会社に対する金銭債務 9,978千円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

- 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数 普通株式 6,000,000株

## 4. 税効果に関する注記

繰延税金資産の総額は、1,260,320千円、繰延税金負債の総額は1,117,013千円であります。繰延税金資産のうち評価性引当額として控除した額は、143,307千円であります。繰延税金資産の主な発生原因は繰越欠損金1,247,586千円であります。繰延税金負債の主な発生原因は開業費（繰延資産）1,117,013千円であります。

## 5. 関連当事者との取引に関する注記

関連当事者との取引に関する注記は次のとおりであります。

属性	会社等の名称	議決権等の被所有割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
関係会社	ソニー生命保険㈱	被所有直接50%	役員の兼任1名	出資	2,000,000	-	-
				出向者負担	88,149	未払金	6,143
関係会社	AEGON International B.V.	被所有直接50%	なし	出資	2,000,000	-	-

## 6. 1株当たり情報に関する注記

- 1株当たり純資産額 931円95銭
- 1株当たり当期純損失額 69円81銭

## 7. 重要な後発事象に関する注記

平成21年5月13日に下記のとおり新株発行を行い増資しております。当該新株発行はソニー生命保険株式会社並びにAEGON International B.V.による引受及び払込が完了しており、株主構成の変動はありません。

- 募集株式の数 200万株
- 募集株式の払込金額 1株につき金1,000円
- 増加した資本金の額 金10億円
- 増加した資本準備金の額 金10億円
- 株式の譲渡制限に関する事項

発行する株式は全て譲渡制限株式であり、株式の譲渡には株主総会の承認を受けなければならない。